

アボランティアだより

第3号 林田小学校 令和元年 7.1 発行

7月を迎えました。新型コロナウイルス感染対策のため、1学期はすべてのボランティア活動がありませんでした。2学期はボランティアさんをお願いできる状況になることを祈っています。皆様も日常生活が変わってしまし、不自由に感じる人が多いことと思いますが、声を掛け合ってともに元気で過ごしましょう。どうぞ、また2学期よろしくお願い致します。



見守りボランティア(林田小地域ぐるみで見守る推進会議)

今年度の「見守る推進会議」は新型コロナウイルス対策のため中止になりました。会議は中止になりましたが、地域で子どもたちの安全を見守り続けてくださっています。休校中の登校日、学校再開に柔軟に対応していただき本当にありがとうございました。今年の夏休みはとても短くなっていて、見守っていただく期間が長くなっています。暑いときですので、お体には十分に気を付けてください。「できることを、できるときに、できるところ」で、無理のないようにお願いします。



*写真は令和元年度の様子です



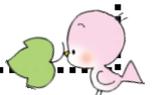
春の交通安全教室

交通安全教室のお手伝いをお願いしました。1年生は歩行指導、4年生は自転車の乗り方指導を受けました。1年生の歩行指導には3名のボランティアさん、4年生の自転車指導には6名のボランティアさんが参加してくださいました。1年生は、「よく見てわたる」を心掛けながら、ボランティアさんと一緒に歩きました。4年生の自転車では自転車の補助と、自転車に乗るとき、降りるときの注意を心掛けて、ポイントに立ってくださいました。



ボランティアさん達にもマスクの着用をお願いしました。

1年生の歩行練習は、手を繋がらないで実施しました。でもしっかり「手を挙げて」わたりました。





読み聞かせボランティア「みんなみずく」

毎週水曜日、朝8時30分から45分は「みんなみずくタイム」。楽しみにしていた時間ですが、新型コロナウイルス感染対策のため、1学期は4月19日にたった1回の読み聞かせで終わってしまいました。例年、毎週水曜日はみんなみずくの皆さんが来てくださって、たくさんの本を読んでくださっていました。2学期は皆さんに読んでいただける状況になれば、嬉しいと思っています。今まで読んでくださった本の中から何冊かみんなみずくだよりと合わせて、ご紹介します。裏もご覧ください。短い夏休みになりますが、参考にして読んでみてくださいね♪



文：マリー・ブラッドヒー
絵：クリス・スーンヒート
訳：斉藤 規

『ぼくが一番望むこと』

本が読めるようになりたい・・・それが少年の望みでした。ぼくは朝暗いうちから仕事に出かける。朝食抜きでおなかはすいているけれど、ぼくの望みは朝食ではない。本が読めるようになりたい！本にはぼくの知らない何かが隠れている。最後のページでブッカーは自分の名前の綴りを知ることができ、大喜びをするという、黒人教育者になったブッカーという人物に基づいた絵本です。私たちは切実に字を読みたい、本を読みたいと思ったことはありません。字が読めるということがどんなに幸せなことなのか・・・ぜひ読んでみてください！

『ええところ』

小学1年生のあいちゃんは、背が低くて足も遅くて「100てんなんか1かいもとったことない」「わたしってええところがひとつもないなあ」のつぶやきに、友達のともちゃんはちゃんと答えます。お友達がええところを見つけてくれて、ええ気分になります。自分のええところを見つけ出すのと同じくらい、ひとのええところを見つけ出せることがどれだけ大事なことかっていうこと。読み終わると、心がほっこりします。続編の『へなちょこ』は、あいちゃんと、ともちゃんの物語が続いています。またまたほっこりする絵本です。



作：くすのきしげのり
絵：ふるしょうようこ
図書室にあるよ！



「できることを、できるときに、できるところから」

ボランティアをしてみようかな・・・と思ったら学校までご連絡ください。「無理をしないでできること」にご協力いただければと思います。

連絡先:林田小学校 電話22-2764

(担当:教頭 木村、地域コーディネーター 久常)

林田小学校学校支援地域本部

地域コーディネーター 久常 貴枝

